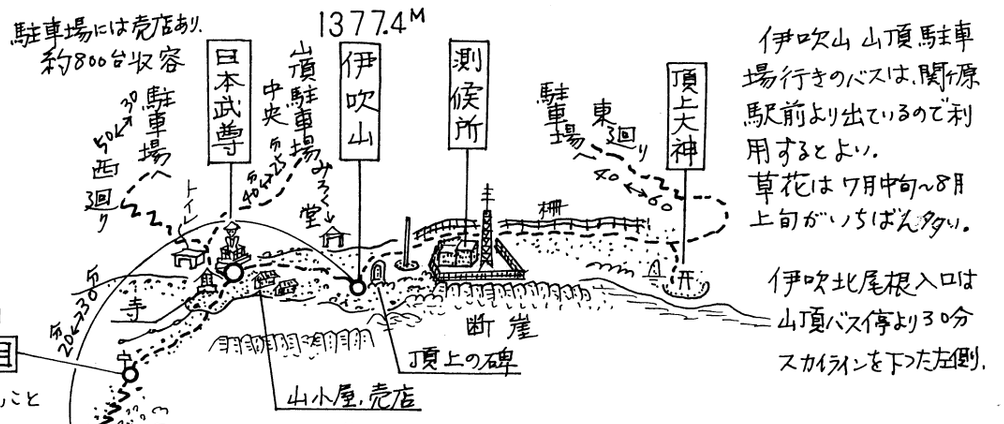
伊吹山（いぶきやま）

花と薬草の多い高原状の山頂

伊吹山の歴史は古く神代にさかのぼる。日本武尊は、この山に棲む荒ぶる神との戦いに病気となり、古郷の大和へと急ぐが、伊勢の国のぼので一羽の白鳥と化し、波瀾の一生を閉じる。この山丁頂に尊を偲んで碑を建てる。

樹木の育たないこの山は、5月に入れば草花が次から次へと咲き古され、花の色彩も白、黄、ピンク、ふじ色など種類も多く、毎年訪れる登山者は多い。



駐車場は有料（約800台収容）。日本武尊像のある山頂駐車場と、東回り・西回りの駐車場がある。

伊吹山 山頂駐車場行きのバスは、関ヶ原駅前より出ているので利用するとよい。

草花は7月中旬～8月上旬がいちばん多い。

伊吹北尾根入口は山頂バス停より3分スカイラインを下った左側。

山頂に立てば

伊吹山頂上は広い。北方を眺めれば、山又山は折り重なるように伏して連なり、奥美濃の山の広大で奥深さが分る。

左奥から金糞岳1314M、見月山1234M、鎗先山966M、池田山924Mと伊吹北尾根が横たわり、遠くは能郷白山1617M、荒島岳1524M、大日岳1709Mまで見える。

もし快晴なら、白山、御岳、乗鞍岳から北アルプス、右には中央アルプス、恵那山迄見え、その展望のすばらしさに茫然として、時間の過ぎるのを忘れるほどである。

滋賀県坂田郡伊吹町

伊吹山中腹 3合目～4合目の草花

花の多い場所

花は高原ホテル前、3合目～4合目間の登山道、倉ノ内断層の南下部、4合目リフトの西斜面。

6月の花

ムラサキケマン　ゴマギ（木）
ヤマブキ（木）　ニワトコ（木）
クサボケ（木）　アズキナシ（木）
キジムシロ　カマツカ（木）
ニリンソウ　イワックバネウツギ（木）
ハクサンハタザオ　タニウツギ（木）
イカリソウ
エンレイソウ
ウスバサイシン
オオタチツボスミレ
オドリコソウ
ホタルカズラ
ウマノアシガタ
イチリンソウ
ホウチャクソウ
イブキシモツケ
エビネ
アマドコロ
イブキノエンドウ
ヒメカンアオイ
カラスノエンドウ
フタリシズカ

4月の花

セツブンソウ
スハマソウ
アマナ
キバナノアマナ
タチツボスミレ
ツボスミレ
コスミレ
カタクリ
エンレイソウ
ヤマネコノメソウ
ヤマエンゴサク
ウスバサイシン
イカリソウ
ニリンソウ
ヒトリシズカ
フッキソウ
オニシバリ（木）
ダンコウバイ（木）
キブシ（木）
ミヤマカタバミ
キジムシロ
オニシバリ（木）
ダンコウバイ（木）
ショウジョウバカマ
シロモジ（木）
クロモジ（木）

5月の花

ムラサキケマン
ヤマブキ（木）
クサボケ（木）
スハマソウ
キジムシロ
キブシ（木）
ニリンソウ
ハクサンハタザオ
カタクリ
ツボスミレ
イカリソウ
エンレイソウ
ウスバサイシン
ヤマエンゴサク
ヤマネコノメソウ
オドリコソウ
ホタルカズラ
ウマノアシガタ
イチリンソウ
ホウチャクソウ
チゴユリ
フデリンドウ
ツクバネウツギ（木）
ミツバウツギ（木）
イブキシモツケ（木）
ズミ（木）
エビネ
アマドコロ
クサイチゴ
イブキノエンドウ
ヤマブキソウ
ホソバノアマナ
フデリンドウ
チゴユリ
クサイチゴ

（春日井）0568-51-7462
奥村光信 1925 T14.3.20

H12.4 改訂

㊟ コースタイムは健脚者で一般は20%増し。